



さむかわ

# 議会だより

第 196 号

令和2年11月1日  
発行



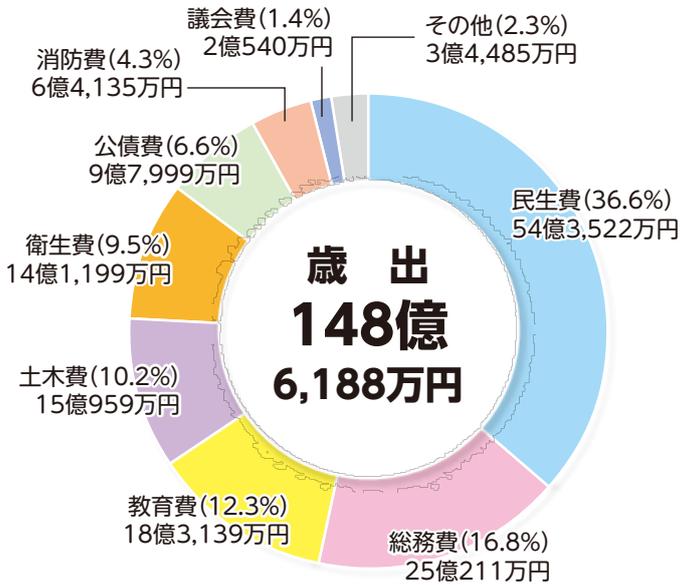
堂崎公園西側(宮山)

7月会議  
9月会議  
9月第2回会議  
10月会議

## CONTENTS

- |             |     |
|-------------|-----|
| ● 決算特別委員会特集 | P 2 |
| ● 議案審査      | P 8 |
| ● 一般質問      | P14 |
| ● 議会TOPICS  | P17 |

# 決算概要



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計額や構成比が一致しない場合があります。

# 令和元年度決算 私たちはここに注目しました!!

## さむかわ自民党



吉田 悟朗 委員長

令和2年第1回定例会9月会議では、令和元年度一般会計決算および各特別会計決算を、5名の委員で構成する決算特別委員会を設置し、9月15日から24日までの5日間で審査しました。その結果、全ての決算を認定しました。

## さむかわ自民党



横手 晃 委員

### デジタルトランスフォーメーション推進の考えは

☑ 行政サービスの飛躍的な向上と職員の働き方改革の推進において、自治体のデジタルトランスフォーメーション推進は不可欠と考える。国でデジタル庁を創設する動きもあり、今後は全国的にデジタルトランスフォーメーションの推進が一気に加速するものと予測され、この流れに町が乗り遅れないことを強く

要望するが、町の考えは。  
☑ 現在も新たな情報通信技術の導入に向けた研修等を行っていますが、今後はコロナ禍における行政のデジタル化が一層期待されていると認識しています。社会全体のデジタル化の波に乗り遅れることのないよう、今後も最新技術の検証や導入に積極的に取り組んでいきたいと考えます。

## 大志会



中川 登志男 副委員長

### 経済状況を見据えた今後の財源確保策は

☑ 令和元年度決算では歳入総額が前年度より増えたものの、経済状況の急激な悪化を受け、今後は町税をはじめとした歳入の大幅な減少も懸念される。町税等の自主財源および国県支出金等の依存財源を確保する上での課題と今後の見通し、来年度以降の方針について問う。  
☑ 新型コロナウイルス感

染症の影響による景気悪化に伴い、町税収入の落ち込みが予想されます。引き続き収納率向上の取り組みや国・県の新たな補助金等の確保に努めます。また、今後も義務的経費の増加により多くの歳入が見込まれます。今後は、新総合計画に基づき、真に必要な取り組みを重点的に推進する予算編成を行っていきます。

# 一般会計

## 令和元年度一般会計・特別会計歳入歳出決算を認定

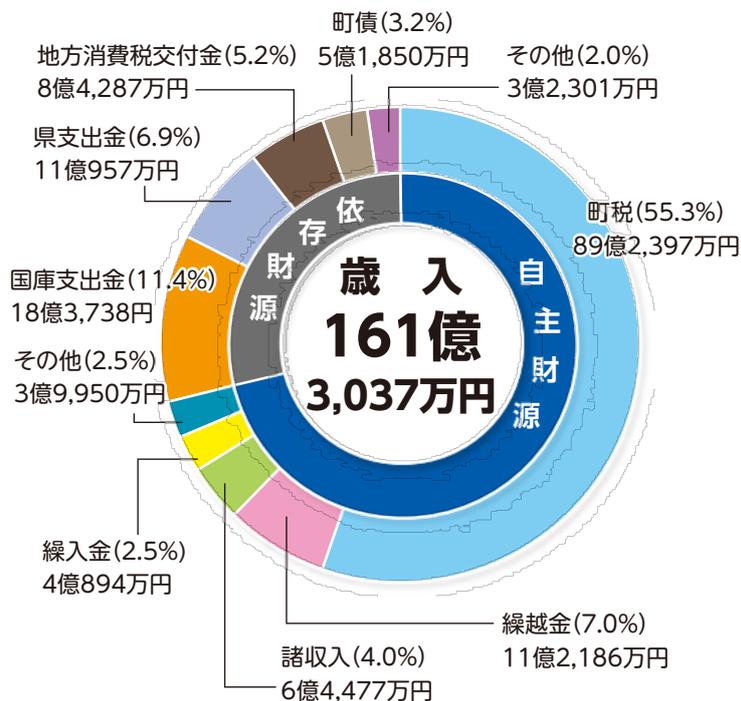
一般会計歳入歳出決算では、実質収支は10億7,684万円の黒字となりました。

## 5日間の決算審査で 計29時間

各課からの決算概要の説明に対し、慎重審査を重ね、質疑を行いました。

## 4人の委員が適正に 予算執行されたかチェック

決算特別委員会最終日に、町長等に対し、総括質疑を行いました。



### 公明党



黒沢 善行 委員

町内の各事業には実施計画に効果指標等が示されている。多くの事業は指標に沿った結果が出ているもの、中には指標に達しないものも見受けられる。これまで評価結果を受けてどのような改善を行ったのか。また、新総合計画に向けた町の考え方は。

毎年年度終了後に担当部課等が評価を実施し、効果の出ている事業は見直すなど次年度予算に反映させています。来年度から開始する新たな総合計画の進行管理については、企画部も関わるとともに、前年度事業のみならず現年度事業も進捗を管理することで、目標達成に向けて対応する体制を検討しています。

### 事業の進行管理と新たな総合計画の進め方は

### 日本共産党



山田 政博 委員

まずは町の認知度の向上に力点を置いています。昨年実施したアークリーグ

の世界チャンピオンが運営する施設で生の感動に触れることで人口が増えるのかという点ではなく、移住・定住の選択肢としてアピールポイントになると捉えています。他のスポーツでは、施設の老朽化に対するお声をいただいております。段階的に環境整備を進めたいと考えます。

### ストリートスポーツと他のスポーツとの公平性を問う

※デジタルトランスフォーメーション(DX) 新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

## タウンセールスの 今後の取り組みは



Q タウンセールス、まちのブランド化について、今後、どのように取り組んでいくのか。

A 取り組みをスタートしてから、3年目に入りました。町民の皆さまに浸透してきましたが、町外に対するPRは十分とは言えない状況です。

今後については各事業展開や、メディア等への参画など積極的なPRに努めていきます。

## 広く職員を集める方法は

Q 町の今後の発展を考えると優秀な人材をいかに集めるかが大きな観点になるが、令和元年度の採用試験の状況はどうだったのか。

A 採用試験においては選ぶと同時に選ばれる側であるということ認識して、申込方法をインターネットに変更するなど受験者の負担を軽減する工夫を行っています。工夫したことにより全国から応募がありましたので、一定の成果があったと考えています。



## 弁護士資格を持つ 職員の採用を



Q 今後、法律のプロの力を必要とする案件が多く出てくることが予想されるが、一括して法律関連業務を依頼できるよう、弁護士資格を有する人を採用する考えは。

A 町の業務が多岐にわたり、近年、住民ニーズが多様化し、法律の専門的解釈に触れるべき機会が増加しています。町としても、町民からの信頼感や職員の働きやすさの観点からも、検討を始めるべき事項と考えています。

## 福祉政策の見通しと 財源確保の課題は

Q 民生費が毎年1億から2億円ずつ増加を続けている。障がい者・高齢者福祉、介護保険、国民健康保険の見通しと、財源を確保する上での課題は。

A 障がいの重度化や高齢化により歳出の増加が予想されるとともに、国民健康保険は制度改正による被保険者減少で財政規模縮小が想定されます。今後も、国への財源措置の要望や健康寿命延伸の取り組みで、安定した財政運営につなげます。



# 適切に予算が

令和元年度に行われた事業に対し、各委員が質疑を行いました。

介護予防・生活支援サービスの現状は

Q 介護予防・生活支援サービスは、利用者の希望に沿っているか。申請しても事業所の空きがなくお待ちいただくこともあるとのことだが、現状は。

A 訪問介護については、サービス利用希望者が増える中、サービス提供事業者が増えないことやホームヘルパーの確保に苦慮しており、お待ちいただくケースもあります。複数の事業所と調整するとともに、介護予防事業の充実に努めています。



執行されたたかちエック!



Q 小児医療費助成制度について、所得制限は撤廃すべきと考えるが、町の見解は。

A これまで、子どもの受診が経済的な理由に左右されることのないよう、一定の所得制限のもと、安定的に制度を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で町民全体の収入の落ち込みが想定され、それがいつまで続くか見通せない状況下では、一定の整理・見直しが必要と考えています。

小児医療費の所得制限を撤廃せよ

子どもたちに情報リテラシー教育を

Q 子どもたちがIT・ICTスキルを身につけるため、情報リテラシー教育を別枠で設けて教育していく考えは。

A GIGAスクール構想で導入される1人1台の端末および高速ネットワークというICT機器を効果的に活用して、児童・生徒が主体的かつ安全にICT機器を利活用できるよう、各教科の学習等を通じて情報活用能力を育む中で、一人一人のメディアリテラシーを高めていきたいと考えています。



Q 社会教育施設（公民館、図書館）に指定管理者制度が導入され3年が経過したが、支出は直営時代と大差ない。効果をどう捉えているか。

A 支出総額に占める人件費の割合が下がり、その分を主催事業、修繕費、図書購入費に充てることで利用者ニーズの充足が図られたと考えます。利用者アンケートでも高い評価をいただいております。今後も多様化するニーズに対応していきます。

社会教育施設指定管理者制度導入の効果は

審査の概要を一部紹介します。

# 令和元年度決算を 討 論

9月会議最終日に、令和元年度決算の採決に先立ち、各委員が各決算の内容について賛成・反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。

## 賛 成

### 黒字達成と着実な事業推進を評価

### さむかわ自民党

を省略し賛成します。

新型コロナウイルス感染症の影響による景気悪化は免れない状況で、今後は新しい生活様式を踏まえた取り組みが必要です。次世代を見据えた戦略的発想のもと、多くの町民が「住んでよかった」と思える取り組みを期待し、賛成とします。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による景気悪化は免れない状況で、今後は新しい生活様式を踏まえた取り組みが必要です。次世代を見据えた戦略的発想のもと、多くの町民が「住んでよかった」と思える取り組みを期待し、賛成とします。

一方、さらなる取り組みが求められる点もあります。まず、「高座」のころ。実行委員会については、マーケティング思考に基づく活動の推進が必要です。次に、多様な法律問題へ対応するため、顧問弁護士制度の導入等を検討すべきと考えます。そして、小児医療費助成制度については、経済活動が低迷するコロナ禍において、子どもを生命を守るという視点から所得制限は撤廃すべきであり、英断を望みます。

少子高齢化の進行に伴う社会保障関連経費等の増により町税収入と義務的経費の差が年々縮まる中、実質収支で10億円以上の黒字を達成したことは極めて素晴らしいものです。その他、総合計画に基づく施策・事業も着実に推進されていると判断しました。

## 反 対

### 不用額の活用を

### 日本共産党

なお、他の4特別会計についても住民負担が大きいことから反対します。

これらの理由から、反対とします。なお、他の4特別会計についても住民負担が大きいことから反対します。

土木費では、東海道新幹線新駅整備基金積立金や寒川駅南口整備の準備は令和元年度にすべき事業なのか疑問です。教育費では、スポーツ活動推進事業費でフラットパークの委託料だけでなく、他の競技団体への補助金を増やすべきです。小学校費・中学校費では少人数学習の効果が見られました。さらに拡充し、教員の増員と待遇改善が必要です。

民生費では、小児医療費助成制度の所得制限撤廃が必要と考えます。また、避難行動要支援者事業は名簿登録に同意されていない方の支援体制が課題で、職員の増員が必要です。

民生費では、小児医療費助成制度の所得制限撤廃が必要と考えます。また、避難行動要支援者事業は名簿登録に同意されていない方の支援体制が課題で、職員の増員が必要です。

昨年10月の消費税増税と新型コロナウイルスの感染症拡大によりさらに景気が落ち込んでいます。決算審査に当たり、税金が町民のために適正に使われたのかを観点に審査しました。実質単年度収支は黒字で、不用額が多いと感じました。これを福祉の向上に使えないのではないのでしょうか。歳出の総務費では、昨年4月に行われたアークリーグ開催事業費について、この事業の目的は生産年齢人口の町への移住を増やすこととしていますが、他にも同目的の事業を実施しており、また、事業の効果や評価について明確な説明がありませんでした。

## 賛 成

### 福祉の積極的な取り組みを評価

### 大志会

なお、他の4特別会計についても賛成とします。

今後、景気悪化による町税の減収が見込まれる一方、歳出では義務的経費の増加が見込まれるなど、今までにない厳しい状況が考えられます。新しい総合計画に基づき、将来にわたる自律的な健全財政の維持・確保の観点から、真に必要な取り組みを重点的に推進することを期待し、一般会計予算に賛成とします。

このほか、労働費における勤労者個人住宅取得奨励金や、消防費における消防団の機械器具購入費が増えました。このようなことから、学校教育や社会教育の環境整備、障害福祉や児童福祉をはじめ各福祉政策の充実、勤労者福祉の向上、さらには消防団活動の強化・充実に向けた取り組みなどが積極的に展開されたことが示されており、評価できるものと捉えています。

このほか、労働費における勤労者個人住宅取得奨励金や、消防費における消防団の機械器具購入費が増えました。このようなことから、学校教育や社会教育の環境整備、障害福祉や児童福祉をはじめ各福祉政策の充実、勤労者福祉の向上、さらには消防団活動の強化・充実に向けた取り組みなどが積極的に展開されたことが示されており、評価できるものと捉えています。

令和元年度決算は歳入・歳出ともに規模の大きいものとなりました。特に、民生費および教育費が増加したことが要因として大きいと思われる。民生費では障害福祉サービス費、幼児教育・保育の無償化に伴う給付費や、子育てのための施設等利用給付費が増えました。教育費では、小学校普通教室等への空調機設置工事をはじめとした小・中学校の大規模工事・修繕や、総合図書館の修繕の増があり、これらが大きな要因と考えられます。

## 決算特別委員会審査意見書

令和元年度寒川町一般会計及び、下水道事業特別会計を除く3特別会計の決算総額は、歳入で、255億6,198万1,814円となり、歳出では239億681万3,339円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は、14億6,351万6,475円の黒字決算となっている。

まず、一般会計の歳入において、歳入総額の55.3%を占める自主財源である町税は、個人町民税が対前年度比2.1%の増となっており、法人町民税では、対前年度比10.6%の増となっているほか、固定資産税では、新築家屋の増や企業の設備投資による償却資産の増など、町税全体では対前年度比2億1,711万5千円、2.5%の増となっている。

一方、依存財源において、国庫支出金では、幼児教育・保育の無償化の開始により、幼稚園就園奨励事業の廃止に伴う私立幼稚園就園奨励費補助金の減のほか、保育所等整備交付金の皆減等があるものの、幼児教育・保育の無償化により子供のための教育・保育給付費国庫負担金の増や子育てのための施設等利用給付費国庫負担金の皆増、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金の皆増などにより増額となったものである。

県支出金では、県議会議員知事選挙執行経費委託金の減などがあるものの、国庫支出金と同様に幼児教育・保育の無償化により子どものための教育・保育給付費県費負担金の増や子育てのための施設等利用給付費県費負担金の皆増、参議院議員通常選挙執行経費委託金の皆増などにより増額となったものである。

また、普通交付税については、本年度も引き続き不交付となるなど、依然として財政状況が十分とはいえない状況である。こうした状況下において、歳入全体の収入済額は、前年度と比較して、3億8,280万2千円、2.4%の増となっており、今後も積極的な財源確保対策を図られるよう要望するものである。

なお、歳入全体の収入未済額は、1億9,882万8千円で、前年度に比べ1,466万8千円の増となっており、税の負担公平と自主財源確保の観点から、収入未済額の縮減に向け、より一層実効性のある取り組みを期待するものである。

一方、歳出においては、148億6,188万円で、対前年度比2億3,617万円、1.6%の増となっている。主な事業は、総務費では、アークリーグ開催におけるプロモーション業務委託料や開催負担金。民生費では、幼児教育・保育の無償化による子育てのための施設等利用給付費や子どものための教育・保育給付費。衛生費では、風しん抗体検査委託料、青少年広場内公衆便所設置工事。農林水産費では、農業水利施設予防保全対策工事。商工費では、観光案内板製作等委託料。土木費では、田端西地区組合土地区画整理事業助成金、危険ブロック塀等防災工事事業補助金。消防費では、消防車両等整備事業費、非常備消防活動事業費の機械器具購入費。教育費では、小学校普通教室等空調機設置工事、旭が丘中学校便所大規模改修工事。

その他の事業においても、町が直面している課題を的確に捉え、町民の様々な要望に応えるべく、町長以下、職員一丸となって取り組んだ姿勢は評価できるものである。次に、特別会計において、特に国民健康保険事業では、保険料の収入未済額が、2億510万2千円で、対前年度比846万円の減、収納率では83.16%で、前年度と比較して0.33%上回っており、引き続き、負担の公平性を確保し制度の安定的な運営を図る観点から収入未済額の縮減を図り、収納率向上に向け、より一層効果的な対策をとられるよう要望するものである。

総体的には、健全財政は保たれており本決算は適正なものとは判断されるが、持続可能な行財政運営を実現するためには、限られた財源の中で、ますます多様化・複雑化する町民ニーズを的確に捉え、積極的な財源確保や予算化するなど、寒川町の認知度向上・魅力発信に努め、町民に信頼される魅力あるまちづくりに期待するものである。

なお、審査の過程において、各委員からの指摘や意見等については十分参酌し、今後の予算編成、執行にあたられるよう要望し、審査意見とします。

### ▼決算特別委員会 委員別賛否結果表

○：賛成 ●：反対

委員名	会計区分				
	一般会計	特別会計			
		国保	後期高齢	介護保険	下水道
委員長 吉田 悟朗 (さむかわ自民党)	—	—	—	—	—
副委員長 中川 登志男 (大志会)	○	○	○	○	○
委員 山田 政博 (日本共産党)	●	●	●	●	●
委員 横手 晃 (さむかわ自民党)	○	○	○	○	○
委員 黒沢 善行 (公明党)	○	○	○	○	○

※吉田委員長は、表決に加わりません。

● 7月・9月・9月第2回・  
10月会議 議案審査 ●

寒川町の  
こんなことが決まりました。

7月会議	会議期間	7月30日
9月会議	会議期間	8月27日から9月28日
9月第2回会議	会議期間	9月30日
10月会議	会議期間	10月13日

7月・9月・9月第2回・  
10月会議の議案は

町長提出議案・・・22件  
陳情・・・1件  
継続陳情・・・2件  
議員提出議案・・・2件

今号では  
この中から  
9つを  
Pick up

※議案の会議録については11月下旬にホームページに公開します。

〈議案第42号〉

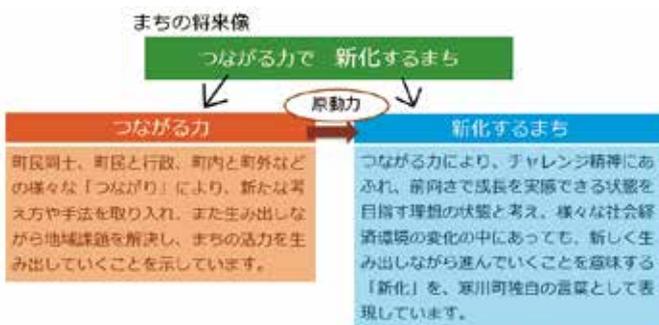
Pickup 1  
20年先の町の将来像を示した  
基本構想を議決しました

20年先の町の将来像を定めた総合計画の基本構想を策定するため、議会の議決に付すべき事件を定める条例第2条の規定により提案されたものです。

こんな質問がありました

Q 「つながる力で新化するまち」と掲げているが、「進化」ではなく「新化」を使用した理由は。

A コロナ禍の状況も同様ですが、今後、さまざまな状況の変化等が待ち受けています。当町の強みをさらに磨いていくことも必要ですが、それだけでは乗り越えられない状況もあると思います。そうした場合に、それまでにない新しい視点等をもって、変えるべきところは変え、切り開いていくことが必要と考え、「新化」としました。



〈議案第44号〉

Pickup **2**

### 中小企業等の販路拡大を支援します

新型コロナウイルス感染症拡大による社会情勢に対応する中小企業者販路拡大事業を支援するものです。補助率は5分の4とし、補助対象事業は販路拡大のための新規事業開発や展示会等への出展、ホームページの作成、充実・強化、PR動画の作成を行った事業者に対して、個人事業者は上限50万円、法人・団体等は上限100万円、または200万円を支給するものです。

こんな質問がありました

**Q** V字回復フェーズとして経済活動回復に向け取り組む事業であるが、この補助事業創設に至った町の考えと具体的な取り組み方法は。

**A** 各企業の販路拡大による、事業継続力の強化と、最終的には町の税収アップにつながることを目的としています。

事業の取り組み方法については、各企業から公募を行い地域コンシェルジュと町職員が事業の実現性や効果を検証した上で交付決定していきます。



〈議案第45号〉・〈議案第60号〉

Pickup **3**

### 教育委員会等の委員が決まりました

固定資産評価審査委員会委員、教育委員会委員の任期満了により、次の委員を同意としました。

委員が決まりました

● 固定資産評価審査委員会委員

(任期 令和2年9月28日から令和5年9月27日まで)

楠谷 稔 氏

池田 忠雄 氏

谷澤 眞樹 氏

● 教育委員会委員

(任期 令和2年10月1日から令和6年9月30日まで)

布谷 あけみ 氏

### Pickup 4

**65歳以上の方はインフルエンザ予防接種を  
無償で接種できます**

季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時流行し、医療現場の負荷増大が懸念されることから、65歳以上のインフルエンザ予防接種に係る自己負担金を無償とするとともに、接種対象者数の増加を見込み、個別予防接種委託料を追加するものです。

こんな意見がありました

**Q** 今回、無料となる対象者は65歳以上の方だけなのか。

**A** 定期接種に該当する65歳以上の方、60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器または免疫機能の障がいにより1級程度の身体障害者手帳を持っている方が対象となります。



### Pickup 5

**第2弾プレミアム付き商品券を  
10万冊販売します**

第2弾として多くの方が購入できるよう、町商工会に対する緊急経済対策寒川町共通商品券補助金を追加するものです。  
第2弾のプレミアム率は、前回同様66・6%とし、追加販売冊数は、10万冊となります。また、販売場所での混乱・3密を避けるため、事前申し込み制とし、販売は1家族で10冊までとなります。

こんな意見がありました

**Q** 前は1家族20冊まで購入できたところ、今回は1家族10冊に見直すとのことだがその経緯は。

**A** 町としては、限られた予算の中で少しでも多くの町民に届けることができるよう、購入可能冊数の見直しを図りました。  
10冊にすることで、町内の半分程度のご家庭が購入できる計算となっております。



〈議案第61号〉

Pickup **6**

**FLATPARK  
SAMUKAWAが移転します**

BMXフラットランド競技をはじめとしたストリートスポーツを通じた町の認知度向上と魅力発信を目的に実施しているストリートスポーツ普及推進委託の拠点を岡田から倉見に移転します。

こんな質問がありました

**Q** スケートボードのエリアが追加されるとのことだが、追加となった経緯は。

**A** 町のストリートスポーツ施策を高く評価していた世界で活躍するトップスケーターと、東京オリンピック競技施設を設計納入した業者が、企画段階から参画していたことからになりました。こうしたことから町としてはさらなる町の魅力向上を図り、より多くの来場者を獲得することにより、他市町村との差別化を図っていきます。



〈議案第62・63号〉

Pickup **7**

**GIGAスクール構想の実現に向け  
タブレット端末および充電保管庫を  
購入します**

GIGAスクール構想の実現に向け、町立小学校および中学校の児童・生徒に一人一台のタブレット端末と、普通教室および特別支援学級にタブレット端末を安全に保管し充電できる環境を整備するため、充電保管庫を購入します。

こんな質問がありました

**Q** タブレット端末の補償が3年とのことだが、補償の内容は。

**A** 補償についてはメーカーが提供する3年間の補償サービスに加入する予定です。このサービスは過失・事故に対する修理やバッテリーが保持する容量が本来の容量の80%未満になった場合のバッテリーの交換などができるサービスで、1年につき2回まで利用することができます。



Pickup 8

**地方自治体のデジタル化の着実な推進を  
求める意見書を国に提出しました**

寒川町議会では、国は予算と技術の両面で、地方自治体のデジタルトランスフォーメーション導入促進を支えるべきであると考え、地方自治体のデジタル化の着実な推進を進めるよう、国に対し、意見書を提出しました。

要望項目

- ① 法令やガイドライン等により書面や対面・押印が義務付けられているものについて、可能な限り簡易にオンラインでできる仕組みを構築すること。特にマイナンバーカードの更新手続きについて、オンライン申請を実現すること。
- ② 情報システムの標準化・共通化、クラウド活用を促進すること。また、法定受託事務についても、業務プロセスの標準化を図り、自治体がクラウドサービスを利用できる仕組みを検討すること。
- ③ 令和3年度から4年度に全国の自治体で更新が予定されている自治体情報セキュリティクラウドについて導入時と同様の財政措置を講ずること。
- ④ 今後の制度改正に伴うシステム改修を行う際には、地方の事務処理の実態を正確に把握するとともに、地方公共団体の負担とならないよう十分な人的支援及び財政措置を講ずること。

Pickup 9

**防災・減災・国土強靱化対策の  
継続・拡充を求める意見書を  
国に提出しました**

寒川町議会では、今後起こり得る大規模自然災害の被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながるよう、「防災・減災、国土強靱化」は、より一層、十分な予算の安定的かつ継続的に確保が必要であると考え、国に対し、意見書を提出しました。

要望項目

- ① 令和2年度末期限の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の更なる延長と拡充を行うこと。
- ② 地方自治体が国土強靱化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額確保を図ること。
- ③ 災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靱化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。

令和2年第1回定例会 7月・9月・9月第2回・10月会議 審議結果

開催月	議案番号	審議結果	会派名	大志会				さむかわ自民党				日本共産党		公明党						
			議決結果	中川登志男	小泉秀輔	佐藤正憲	佐藤一夫	天利薫	横手晃	杉崎隆之	岸本優	吉田悟朗	青木博	山田政博	細川京三	黒沢善行	太田真奈美	関口光男	柳下雅子	山蔦紀一
7月	42	総合計画の基本構想の策定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	43	寒川町手数料条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	44	令和2年度寒川町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
9月	45	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	46	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	47	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	48	寒川町町税条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	49	寒川町空家等対策協議会条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	50	令和2年度寒川町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	51	令和2年度寒川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	52	令和2年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	53	令和2年度寒川町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	54	令和2年度寒川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	55	令和元年度寒川町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	-	●	●	○
	56	令和元年度寒川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	-	○	○	○
	57	令和元年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	-	○	○	○
	58	令和元年度寒川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	-	○	○	○
	59	令和元年度寒川町下水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	-	○	○	○
	60	教育委員会委員の選任	同意	賛成：17票 反対：0票																
	陳情第3号	「親子交流への改名を求める意見書の提出」を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	意見書第2号	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
意見書第3号	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
9月第2回	61	令和2年度寒川町一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
10月	62	物品の取得	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	63	物品の取得	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	

○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席(関口議長は、表決には加わりません。柳下議員、山蔦議員、柳田議員は会派に属さない議員です。)

本会議・委員会の記録

本会議・委員会の記録を次のQRコードからご覧いただけます。



※7月・9月・9月第2回・10月会議の記録については、11月下旬頃から順次閲覧できるようになります。

# 5人の議員が

## 一般質問

### 一般質問とは？

皆さんの暮らしに関わる大切な内容について、町議会議員が町に対して質問を行います。

QRコードからは、一般質問の録画映像をご覧いただけます。スマートフォンやタブレットで視聴ください。



岸本 優 議員

### コロナ禍における高齢者対策を 早急を実施せよ



**Q** 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施は、県内でも先行して開始しているが、コロナ禍の展開は。

**A** 定期受診の習慣が無い方も健康を害している可能性があるため、75歳以上で過去1年間に医療機関の受診履歴の無い方を対象に保健師・管理栄養士が電話による健康確認や状況に応じた保健指導を実施予定です。感染リスクを減らすため、在宅生活が中心になっている方たちの身体機能が虚弱にならないよう、自宅どのようなやり方をすれば身体機能を維持していけるかを模索しています。介護予防事業は多くの方にご参加いただいた実績もあるので、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分施した上で、展開できるものを考案し、積極的に実施していきます。

### 特色ある教育について町の考えは

**Q** 外国語教育および情報教育の課題に対し、町の施策は。

**A** 小・中学校におけるグローバル教育と位置付け、推進を図りたいと考えています。まず、外国人英語指導者を増員して全町立小・中学校に常駐配備し、併せて特別免許状を取得し、外国語指導助手ではなく外国人指導者(FLT)として、より主体的に指導に関われるよう検討していきます。

また、ICT機器活用に関する教員研修を実施し、子どもたちの情報活用能力を育成していきたいと考えています。将来を担う子どもたちが生き抜くことができるよう、町の強みを生かしながら実現に向け努力していきます。





柳田 遊 議員

## ウィズコロナ時代を見据えた 行政のデジタル化を問う



**Q** 新型コロナウイルス感染症予防

のため社会は新たな生活様式を受け入れることになり、コロナ禍で最も社会変化のあったデジタル化に適應することが行政サービスに問われている。命を守ることと、経済・社会活動を両立しなければならぬ状況で、ウィズコロナ時代を見据えた町の行政デジタル化への取り組みは。

**A** デジタル化を図ることにより、効率よく業務を進めることで、より多くの時間を住民サービスに充てることとができます。また、デジタル化が進めば、来庁せずに要件が済むような



直接的な住民サービス向上につながることも期待されます。将来にわたる十分な行政サービスが提供できるよう、デジタル技術の導入については積極的に対応していきます。

### 課題解決に向けた 町の子育て施策について問う

**Q** 次代を担う子どもたちのため、より良い子育て環境をつくるために、現状の課題に対し、どのように取り組んでいくのか。

**A** 町では、今年度から新たにスタートした第2期寒川町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て世代の不安解消や子育て環境の充実など、さまざまな子育て支援施策に取り組んでいます。

今後は新型コロナウイルス感染症との共存を余儀なくされることが予想されますので新たな相談の仕組みを検討するなど、子育て家庭の不安や悩みに対して、これまで以上に丁寧な寄り添った対応に努めていきます。



太田真奈美 議員

## アフターコロナを見据えた 子育て支援の拡充を



**Q** コロナ禍において、全ての子育て家庭が影響を受けている中で、小児医療費の所得制限のあり方を根本的に見直し、撤廃すべきではないか。

**A** 所得制限は、制度を安定的に継続するため設定していますが、新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くか分からない状況では、見直しの必要性も感じており、検討を進めたいと思います。

**Q** 特別定額給付金の、国の基準日以降に誕生した子どもへの対応は。

**A** 給付される子とされない子を、



どこで線引きするのかということについて、特別定額給付金の基準日と同じ問題が生じるため、給付金等の支援は行いません。

**Q** 「高座」のころ。が持つ、優しさや温かさを、お祝いパッケージとして取り組む考えは。

**A** 町では母子手帳交付時や乳児全戸訪問の際に、事業者から提供された商品をプレゼントとして手渡ししています。支援に込められた思いや心が伝わるような新しい形の支援策について考えていきたいと思えます。

### インフルエンザワクチンの 定期予防接種の無料化を

**Q** 秋以降の新型コロナウイルス感染症との同時流行に備え、65歳以上に対し、全額公費負担の考えは。

**A** 希望する高齢者が適切に接種でき、重症化予防にもつながるものと考え、今期定期接種の対象者である65歳以上の高齢者に対し、自己負担金を無料にする考えです。



青木 博 議員

少人数学級を拡充して  
きめ細やかな教育を進めよ



**Q** 緊急事態宣言後、分散登校で結果的に少人数学級となった。改めて少人数学級の効果を問う。

**A** きめ細やかな指導や支援が行き届き、授業中に教師と児童・生徒とのコミュニケーションの機会も増え、個に応じた指導が組み立てやすく学力向上にもつながると考えます。

**Q** コロナ禍で少人数学級を求める声が広がっているが把握しているか。

**A** 学校での感染防止や子どもたちのケアと学びの点から、各所で声が上がっていることは認識しています。

**Q** 切れ目のない子育て支援を掲げる町として少人数学級の拡充は課題であると思うが、今後については。

**A** 町は、国や県に先駆けて少人数学級の拡充に取り組んでいます。今後も感染症対策に十分配慮しながら安全安心を第一に、教育活動を進めることが必要と考え、引き続き国や県へ要望していきます。

平和事業の推進に取り組み

**Q** 平和を願う町として、若い世代への引き継ぎは重要と考えるが。

**A** 平和を求める確固たる意志を若い世代へ引き継ぐため、試行錯誤しながら平和事業の推進に取り組むたいと考えます。

**Q** 常識的な範囲内で条件を付けず、協働で町民と平和事業を進めるべきと考えるが。

**A** 行政の公平性、中立性に十分留意し、町民の皆様と協働で取り組んでいきたいと考えます。



小泉 秀輔 議員

コロナ以降も豊かな町を目指し  
確かなまちづくりを



**Q** 来年度以降の東海道新幹線新駅整備基金積立金の今後は。

**A** 来年度以降の税収減も懸念される一方で、田端西地区での工業系土地利用が順調に進むことにより、増収が見込まれる要素もあります。厳しい財政状況下にあっても、新駅実現のため引き続き基金の積み立てに努めていきます。

**Q** テレワークなどが推進されるなか、サテライトオフィスの整備や誘致は。

**A** 新型コロナウイルス感染症が拡大していく中で、図らずもツインシテ

イ整備計画で掲げた都市づくりが求められる状況に至ったと考えています。こういった状況を的確に受け止め、地元関係者やJR東海に強くアピールを続け、機運の醸成を図っていきたいと考えます。

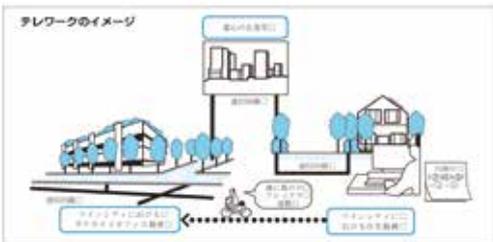
ICT機器を活用した  
学習機会の確保を

**Q** ICT機器活用の課題は。

**A** 一斉学習・個別学習・共同学習等の授業において、ICT機器をどのように活用していくかが課題です。効果的にICT機器を活用するには教職員の研修体制の充実を図っていくことが大切だと考えています。

**Q** ICT機器の更新費負担について、町財政当局の見解は。

**A** 更新等の財源については、国から何も示されない状況ですので、町としては地方交付税不交付団体に過度の負担が生じないよう財源の確保を国に積極的に求めていきたいと考えています。



▲テレワークのイメージ  
(ツインシティ整備計画より)

## 「Zoom」を活用した会議運営を研究しています

自然災害や感染症の拡大によって、登庁できない場合を想定し、Web会議システム「Zoom」を活用したweb会議を研究しています。また、任意の組織である議会改革推進委員会の部会においても積極的に活用するなど、「Zoom」を活用した会議運営のあり方について検討を進めていきます。



## 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を 実施しながら議会運営をしています

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、本会議場・委員会室の常時換気、AI顔認証体温検知システムの設置、および本会議場へのアクリル板設置等を行っています。



## 寒川町議会議員の政治倫理規程を制定しました

議員の政治倫理の向上をより一層図り、町民に信頼される議会づくりを進めるため、「寒川町議会議員の政治倫理規程」を制定しました。

規程には、議員が町民全体の代表者として、遵守すべき規律の基本となる事項を定め、町民の信頼に応えるとともに、公正で民主的な町政の発展に寄与することが定められています。

詳しくは、右のQRコードより「寒川町議会議員の政治倫理規程」をご覧ください。

政治倫理規程





## 議会を傍聴される皆様へ



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、傍聴にお越しくださる皆様の健康を守る観点から、当面の間、議会の傍聴をご遠慮いただきますようお願いいたします。

会議の様子は、インターネット中継でご視聴いただけますようお願いいたします。

ご不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

インターネット中継

## 12月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24	25	26	27	28
				本会議 (議案上程等)		
29	30	12/1	2	3	4	5
	本会議 (議案質疑等)	総務常任 委員会	文教福祉 常任委員会	建設経済 常任委員会		
6	7	8	9	10	11	12
	東海道新幹線 新駅対策 特別委員会 田端西地区 まちづくり対策 特別委員会		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
13	14	15	16	17	18	19
		本会議 (委員長報告等)				

AM9:00 開会  
(会議の日程等は変更になる場合があります)  
※ 12/7 (月) 田端西地区まちづくり対策特別委員会は PM1:15 開会  
※ 12/15 (火) 本会議は AM10:00 開会

## 令和3年第1回定例会1月会議日程

日時: 令和3年1月4日 (月) AM10:00開会  
内容: 定例会の会期決定等

広告 車のことならお任せください!

すいせんカード、  
「高座」のこころ。商品券  
も使用できます。

下里自動車株式会社

車検・整備・車販・钣金・保険・点検・リース・レンタカーなど、なんでもご相談ください。

寒川町中瀬20-23 (景観寺そば)

0467-75-0695

日曜・祝日・第2第3土曜日等

関東陸運局長指定工場 (自動車整備)

8:30~17:30

## 広告を掲載しませんか

議会活動のさらなる充実を図るため、寒川町議会だよりでは有料広告を掲載しています。掲載されている広告については各広告主へお問い合わせください。

広告募集の概要	
掲載場所	裏表紙
広告の規格	縦115mm×横85mm
掲載料	1号あたりの掲載料 40,000円
	年間(4号)一括申込による掲載料 144,000円(1号当たり36,000円)
申込期間	掲載を希望する号が発行される月の3カ月前の1日~3カ月前の20日まで

第197号(2月1日号)への広告掲載について	
申込期間	令和2年11月1日~20日
申込方法	申込方法および要綱等についてはホームページをご覧ください。